科目ナンバリング	U-LAS40 20043 SJ26						
授業科目名<英訳>	脳・生命・心の探究 The Quest for Brain, Life and Mind			担当者所属職名・氏名	人間・環境学研究科 教授 小村 豊		
群	健康・スポーツ科目群	分野(分類)	健康・スポーツ科学(発展)	使用言語	日本語		
旧群		単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・後期	曜時限	金5	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

脳は、心臓や腎臓らとともに、生命を支えるために重要な臓器である。一方で脳は、情報を生成し、心を司る点が、他の臓器とは異なる最大の特徴である。本授業では、なぜ、怖いものを見たらドキドキするのかといった認知・情動の機構から、意思決定のアルゴリズムまで、我々の生活と生命を支えている脳の仕組みを解説していく。また参加者との議論を通して、脳・心・生命の関係について、基本的な見方を養うことを目的とする。

[到達目標]

我々の日常生活のすみずみに、多彩な認知機能が及んでいることに着眼し、認知には、特有の構造を持っていることを、神経科学の観点から、理解する。心の働きを理解するために、脳と身体と環境の相互作用が密接にかかわっていることを知り、脳・心・生命に関する基本的な指標と、その計測・抽出方法を学ぶ。

[授業計画と内容]

初回に、イントロダクションを行う。その後、講義・輪読・議論を交えながら、下記のテーマをとりあげる。フィードバックを含む全15回の授業のうち、 各テーマは、２～４回を予定している。番号は目安であり、順番が前後することがある。

1）脳・心・生命の定義、指標を概説する。
2）生命の指標：心拍・呼吸など、自律神経機能の概説。
3）心の見方：行動・視線などから、認知機能を探る例の紹介。
4）脳活動とは：ノイズに埋もれやすい脳信号を抽出する手法を学ぶ。
5）脳・心・生命の関係について、グループディスカッションを行う。

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

出席と参加の状況の総合評価。詳しくは授業中に説明する。

[教科書]

使用しない

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

事前にトピックが知らされたら、関連資料などを一読し、当日のゼミに備える。

[その他（オフィスアワー等）]

[主要授業科目（学部・学科名）]